

朗読と音楽

# 串田孫一

山のパンセ 星への手紙

あなたは星だからです。

名前のない星だからです。

そして星であり続けて下さい。

流れる星に憧れて、消えてしまつては困ります。

疑いを抱き、迷い続ける生命のために。

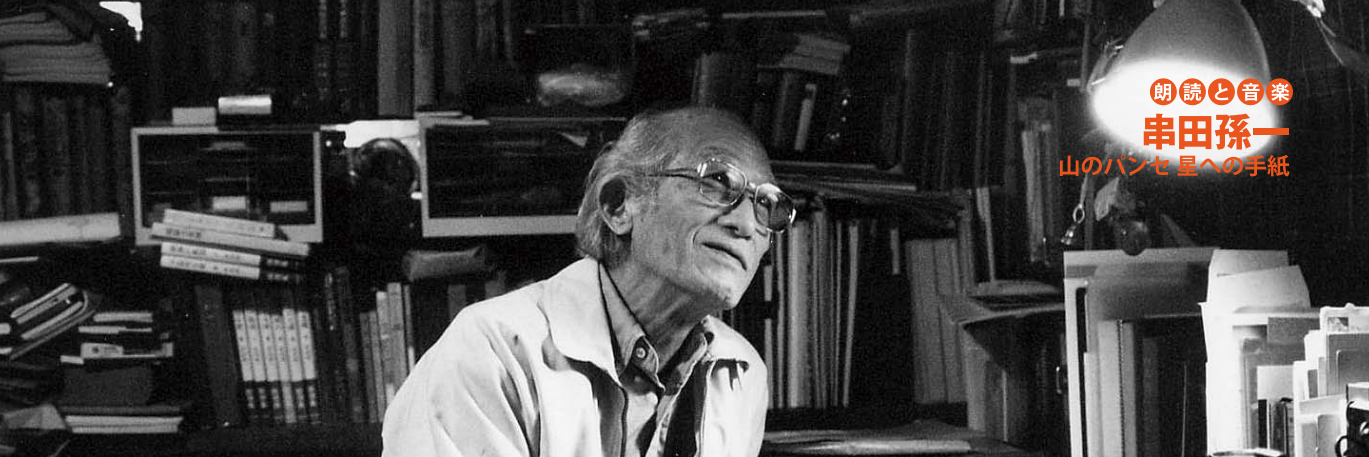
「星への手紙」より

2020  
8月8日(土)17:00

8月9日(日)11:00/15:00

信毎メディアガーデン  
1階ホール





●日時

2020年

8月8日(土)17:00 開演

8月9日(日)11:00 開演/15:00 開演

開場は開演 30 分前 途中休憩あり

●会場

信毎メディアガーデン

1階ホール

長野県松本市中央 2-20-2

●料金 (全席自由・税込)

3,500 円 (当日 4,000 円)

3歳以上有料。2歳以下は大人1名につき1名まで膝上無料。

但しお席が必要な場合は有料。

●定員・各回100名

●プレイガイド

信毎メディアガーデン1階まちなか情報局 (9:00 ~ 18:00)

セブンチケット <http://7ticket.jp>

ローソンチケット (Lコード: 32193)

●<安心してご参加いただくために>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため下記対策へのご協力をお願いいたします。

- ★発熱・せきなどかぜのような症状がある場合はご来場をご遠慮ください
- ★ご入場の際はマスクを着用いただき、せきエチケットをお守りください
- ★会場入口に消毒液を設置いたします。手指の消毒にご協力ください
- ★会場内換気を定期的に行います

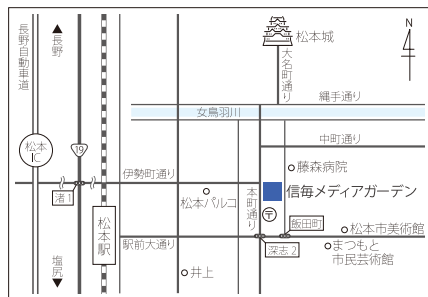
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または縮小することがあります。ホームページ等で公式情報を必ずお確かめの上、ご来場いただきますようお願いいたします。

●主催: 信濃毎日新聞社

●お問い合わせ

信濃毎日新聞松本本社まちなか情報局

Tel.0263-32-1150 (平日 9:00 ~ 17:00)



□松本駅から徒歩約8分 □松本ICから車で約15分  
当施設に専用駐車場の用意はありません。公共交通機関や周辺有料駐車場をご利用ください。近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮ください。皆様のご協力をお願いいたします。

生きとし生ける者の迷い、  
戦時下の日記、自然や暮らしへの優しいまなざし。  
夜更けにきらめく星たちに語りかけながら、  
串田孫一が綴った手紙を いま受け取りましょう。  
バロック音楽に耳を澄ませ  
豊かなパンセを呼吸しながら。

串田孫一 (くしだ まごいち)

1915年生まれ。詩人、哲学者、随想家。東京帝国大学哲学科を卒業。

1958年、山の文芸誌「アルプ」創刊。代表作に「山のパンセ」「若き日の山」など。

山に登り、自然の中に身を置くことで自らと対話した。

絵画、版画、篆刻もよくし、400冊近い著書のうち自身で装幀を手掛けたものも多い。

音楽への造詣も深く、レコード解説や選曲、ブロックフレーテやアイリッシュ・ハープを演奏。

自作のFMラジオ番組「音楽の絵本」のパーソナリティを約30年間続けた。



演奏

高橋悠治

たかはしゆうじ

1938年東京生まれ。作曲家、ピアニスト。柴田南雄、小倉朗、ヤニス・クセナキスに作曲を師事。ドイツを経てNYに渡り、コンピュータによる作曲を研究。一柳慧、武満徹、林光らと共にグループ「トランソニック」を組織。主なCDに「パッハ: ゴルトベルク変奏曲」「エリック・サティ: 新ピアノ作品集」、著書に「きつかけの音楽」「カフカノート」など。

- 企画・構成: 串田和美
- コーディネート: 串田明緒
- 絵: 串田孫一

朗読

串田和美

くしだかずよし



俳優、演出家、舞台美術家。まつもと市民芸術館芸術監督。「松本ならでは」の事業を次々と実現。信毎メディアガーデンの企画プロデューサーとして年数回の多種多様な「串田企画」を開催する。著書に「幕がある」「串田劇場(くしだぎじょう)」など。串田孫一の長男であり、若き日の山男。

朗読

小林聡美

こばやしさとみ



1982年に大林宣彦監督映画「転校生」で初主演。主な出演にドラマ「やっぱり猫が好き」、映画「かもめ食堂」「プール」「紙の月」、串田和美演出舞台「24番地の桜の園」。最新エッセー集に「聡乃学習(サトスナワチワザオナラウ)」。2016年より信毎の書評委員を2年間務めた。